

A. 管理組合の概要

※TABキーで次の項目に進みます

1 管理組合名

2 所在地 〒 -

マンション名

★市町村名、地番、マンション名までご記入下さい。

3 理事長名 号棟 号室

電話 - -

4 申込み者名 号棟 号室

★申込みのご担当をご記入ください。

電話 - - 記載事項の確認が必要なため、日中にご連絡が可能な電話番号をご記入ください。

注意書きに戻る

B.会計の状況に進む

B. 会計の状況

※TABキーで次の項目に進みます

- | | | |
|-----------------------------|------------------------|------------------------------------|
| 1 現在の修繕積立金 徴収総額(月額) | <input type="text"/> 円 | ★修繕積立金(管理費は除く。)の全戸分(非住宅分を含む。)の徴収総額 |
| 2 現在の修繕積立金 戸当たり平均額(月額) | <input type="text"/> 円 | ★上記修繕積立金の徴収総額金額を全戸数で割った額 |
| 3 修繕積立金の残高(前期会計年度末残高) | <input type="text"/> 円 | ★前期会計年度末現在の修繕積立金の残高(修繕積立基金を含む。) |
| 4 専用使用料からの修繕積立金への繰入額(年額) | <input type="text"/> 円 | ★専用庭等の専用使用料からその管理に充当した残金 |
| 5 駐車場等の使用料からの修繕積立金への繰入額(年額) | <input type="text"/> 円 | ★駐車場使用料からその管理に充当した残金 |
| 6 その他の修繕積立金への繰入額(年額) | <input type="text"/> 円 | ★その他、修繕積立金の運用益等 |
| 7 借入金の償還金(前期会計年度末、元本残額・利息) | <input type="text"/> 円 | ★借入金がある場合は、前期会計年度末現在の残高を記入してください。 |
| 8 借入金の返済残期間(前期会計年度末から) | <input type="text"/> 円 | 前期会計年度末からの返済残期間を記入してください。 |

A. 管理組合の概要に戻る

C. 建物・設備の概要に進

C. 建物・設備の概要

※TABキーで次の項目に進みます

1 建物完成年月日 (西暦) 年 月 日

2 マンションの構造 RC造 SRC造 鉄骨造・その他

3 マンションの規模 階数 地上 階 地下 階

戸数(非住宅の区画を含む) 戸

4 団地型の場合:団地全体の規模(参考) 棟数 棟 戸数 全 戸

5 棟型式 単棟型 団地(多棟)型 タウンハウス型

6 「敷地面積」 m²

7 「建築面積」 m²

8 建物の形状
 「雁行」している
 「セットバック」している
 「雁行しセットバック」している
 「箱形(長方形)」である
 「雁行」の割合 %
 (「雁行」していない場合は「0%」)

9 廊下方式の選択
 開放廊下方式
 中廊下方式
 階段室方式
 その他(混在方式)

★建物の設計図書や販売時のパンフレット等で確認してください。
 ★建物完成年月日は、月日までご記入ください。日付が不明な場合は1日としてください。
 ★「鉄筋コンクリート造は「RC造」、鉄骨鉄筋コンクリート造は「SRC造」、
 鉄骨造・その他は「鉄骨造・その他」を選択し、チェックしてください。
 ★建物が複合用途の場合の戸数は、全住戸数に、店舗・事務所等の区画数を加えた
 数をご記入ください。

★団地型とは、同じ敷地に独立した棟が2棟以上あるものをいいます。
 なお、棟が構造的に分かれていても、EXPJ等により各階でつながっている場合は、
 単棟型としてください。

★タウンハウス型とは、2階建て程度の住戸が連続して1棟を構成するものをいいます。

★「敷地面積」や「建築面積」は、建築基準法で定められています。建物の設計図書
 や販売時のパンフレット等で確認してください。

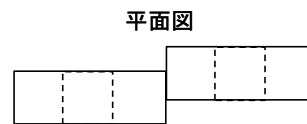
★団地型で、全棟をまとめて1つの長期修繕計画を作成する場合は、敷地全体の
 面積を記入し、棟ごとに作成する場合は、敷地全体の面積を各棟の「専有面積」
 で按分した面積を記入してください。

★「雁行」とは、建物を平面的にみて、住戸単位でずれているものをいいます。
 L字型、コの字型、ロの字型の建物は「雁行している」には含みません。

★セットバックとは、斜線制限等により建物上部が段状に後退しているものをいいます。

★傾斜地に階段状に建つ場合は、「雁行しセットバックしている」を選択してください。

★「雁行」の例と雁行割合算定の例

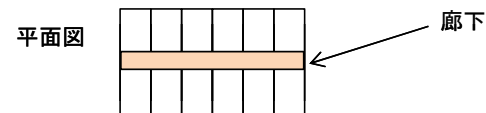


6戸のうち1戸がずれている 1/6=17%



6戸のうち6戸がずれている 6/6=100%

★中廊下方式とは、下図のように建物内の住戸と住戸の間に廊下があるものをいいます。



10 住居タイプ別面積表

タイプ	戸数	面積		タイプ	戸数	面積		タイプ	戸数	面積	
		専有部分	バルコニー			専有部分	バルコニー			専有部分	バルコニー

	住宅	非住宅	計
戸数合計 (A)	戸	区画	(戸・区画)
専有面積合計 (B)	m ²	m ²	m ²
バルコニー面積合計 (C)	m ²	m ²	m ²
平均面積 (B)+(C) / (A)	m ²	m ²	m ²

11 駐車場設備(マンション全体)

ある 駐車場の台数 台

ない

- ★住戸タイプ別に記入してください。タイプ数が30以上ある場合は、類似の専有面積のタイプに集約し、30タイプ以内としてください。
- 店舗や事務所は、タイプに「店舗」、「事務所」と記入してください。
- ★住戸タイプ名はアルファベット、数字等で記入してください。
- ★管理(員)室・集会室等は、除きます。
- ★戸数合計欄の「計」は、「記入票の概要」の「C. 3. マンションの規模の戸数」と一致させてください。
- ★バルコニーには、ルーフバルコニー部分を除きます。
- ★平均面積は、専有面積合計(B)とバルコニー面積合計(C)を合算したものを戸数合計(A)で除してください。
- ★団地型(複数棟)の場合で、棟ごとに長期修繕計画を作成する場合は、全体の台数(立体駐車場のみ)を各棟の住戸数等で按分した台数を記入してください。

B.会計の状況に戻る

D.建物・設備等の

D. 建物・設備等の現状と修繕履歴

※TABキーで次の項目に進みます

1 屋根防水

①「屋上防水(保護)」「保護コンクリート防水(歩行用防水)」

- あり 「屋上防水(保護)」の修繕
- 実施した 過去 回 直近 年
- 実施していない
- なし

★屋上は、屋上、塔屋、ルーフバルコニーをいいます。
★屋上防水(保護)とは、防水層をコンクリート等で保護し、その上を歩行することができるものをいいます。

2 「傾斜屋根」

③-1[シングル葺き等]の有無

- あり シングル葺き等の撤去・葺替え
- 実施した 過去 回 直近 年
- 実施していない
- なし

③-2[金属板葺き等]の有無

- あり 金属板葺き等の撤去・葺替え
- 実施した 過去 回 直近 年
- 実施していない
- なし

「屋上防水と傾斜屋根が混在している場合」

屋根全体のうち屋上防水の割合 %程度

3 床防水

①「バルコニー床防水」

「バルコニー床防水」の面積 0.00 m²

「バルコニー床防水」の修繕

実施した 直近 年

実施していない

★バルコニー床防水とは、ウレタン塗膜防水等をいいます。
★バルコニーには、ルーフバルコニーを含みません。

②「開放廊下・階段等床防水」

「開放廊下・階段等床防水」の面積 0.00 m²

「開放廊下・階段等床防水」の修繕

実施した 直近 年

実施していない

★開放廊下・階段等床防水とは、床の塩ビシート張り、側溝・幅木のウレタン塗膜防水等をいいます。
★建物の設計図書、又は実測により、おおよその面積を記入してください。

4 外壁塗装等

①-1[開放廊下・階段の手すり]の仕様

- 1)鋼製
- 2)アルミ製又はステンレス製
- 3)コンクリート製(手すり壁)
- 4)コンクリート製と鋼製が混在
- 5)コンクリート製とアルミ製又はステンレス製が混在
- 6)開放廊下がない(手すりがない)

★開放(外部)廊下・階段(屋外鉄骨階段を除く。)の手すりについて、その材料を選択します。

★手すりにガラスやパネルがはめてある場合は、手すりの枠部分の材料で判断して材料で判断して

①-2[バルコニーの手すり]の仕様

- 1)鋼製
- 2)アルミ製又はステンレス製
- 3)コンクリート製(手すり壁)
- 4)コンクリート製と鋼製が混在
- 5)コンクリート製とアルミ製又はステンレス製が混在
- 6)開放廊下がない(手すりがない)

★バルコニーの手すりについて、その材料を選択します。

★手すりにガラスやパネルがはめてある場合は、手すりの枠部分の材料で判断してください。

②「軒天塗装」

②-1 [開放廊下]の天井の有無

- 1)あり
- 2)なし
- 3)混在、その他

★軒天とは、開放廊下やバルコニーの軒天(上げ裏)をいいます。

②-1 [バルコニー]の天井の有無

- 1)あり
- 2)なし

外壁・手すり壁・軒天の塗装、タイル張りの補修、シーリングの打替等

- 実施した 過去 回 直近 年
- 実施していない

③「タイル張補修」

外壁全体(面積)のうちタイル張り(面積)の割合 %程度

★「タイル張」とは、磁器タイル張、石張等をいいます。

★タイル張がない場合は「0%」とします。

5 鉄部塗装等

①「鉄部塗装(雨掛かり部分)」

①-1 [開放廊下・階段、バルコニー以外の鋼製手すり等]の有無

- 1)その他の鋼製手すり等がある
・高さ m で 長さ m

★鉄部(雨掛かり部分)とは、屋外で直接雨にさらされる、開放廊下・階段やバルコニーの鋼製手すり、屋外鉄骨階段等をいいます。

★「開放廊下・階段、バルコニー以外の鋼製手すり等」とは、

・高さ m で 長さ m

※高さ1mに換算した 総延長 m

2)その他の鋼製手すり等はない

①-2 [屋外鉄骨階段] の有無

あり 総階層数 層

「鉄部(雨掛かり部分)」の塗替

実施した 直近 年

実施していない

なし

②「鉄部塗装(非雨掛かり部分)」

[住戸玄関ドア]の仕様

1)鋼製ドア(塗装)

2)鋼製ドア(塩ビシート貼り等(塗装不要))

「鉄部(非雨掛かり部分)」の塗替

実施した 直近 年

実施していない

③「非鉄部塗装」

「非鉄部」の清掃・塗替

実施した 直近 年

実施していない

6 建具・金物等

①「建具関係」

「建具関係」の取替

①-1[住戸玄関ドア]の取替(カバー工法を含む)

実施した 直近 年

実施していない

①-2[住戸窓アルミサッシ]の取替(カバー工法を含む)

ルーフバルコニーや屋上に設置されたフェンス等を指します。

★ルーフバルコニーや屋上のフェンス等の高さと長さを記入します。異なるものが、3ヶ所以上ある場合は空欄に追加してご記入ください。

★高さ1m換算の総延長は、「高さ×長さ」の総計を、1mで除した数値とします。

(例)高さ2m、長さ10mの場合 → 高さ1m換算の総延長は 20m

★屋外鉄骨階段の1階分を1階層として、階層数(複数の場合は、各屋外鉄骨階段の階層の総数)を求めてください。屋上までない屋外鉄骨階段は、「階数-1」が階層数となります。

(例)5階までの屋外鉄骨階段(4階層)が1つ、4階までの屋外鉄骨階段(3階層)が1つの場合 → 総階層数は7

★鉄部(非雨掛かり部分)とは、直接雨にさらされない、各住戸の鋼製玄関ドア、メーターメーターボックス扉等をいいます。

★非鉄部とは、アルミサッシ、バルコニー隔て板のパネル等をいいます

★建具関係とは、各住戸の玄関ドア、窓アルミサッシ等をいいます。

★カバー工法とは、既存の建具の枠の上に新たな建具を設ける工法をいいます。

実施した 直近 年
 実施していない

②「手すり」

「手すり」の取替

実施した 直近 年
 実施していない

③「屋外鉄骨階段」

「屋外鉄骨階段」の取替

実施した 直近 年
 実施していない

④金物類(集合郵便受等)」

「金物類(集合郵便受等)」の取替

実施した 直近 年
 実施していない

⑤「金物類(メーターボックス扉等)」

「金物類(メーターボックス扉等)」の取替

実施した 直近 年
 実施していない

★手すりとは、開放廊下・階段、バルコニー等の鋼製、アルミ製等の手すりをいいます。(コンクリート製は除きます。)

★屋外鉄骨階段がある場合に記入してください。

★金物類(集合郵便受等)とは、集合郵便受、掲示板、宅配ロッカー、避難ハッチ、タラップ、隔て板、物干金物等をいいます。

★金物類(メーターボックス扉等)とは、メーターボックスの扉、いいます。

7 共用内部

「共用内部」

[集会室]の有無

あり

「共用内部」の修繕

実施した 直近 年
 実施していない

なし

★管理員室を兼用している集会室は、「2)ない」を選択して

★共用内部とは、管理員室、集会室、内部廊下、内部階段、エントランスホール、エレベーターホール等の壁、床、天井等をいいます。

8 給水設備

①「給水管」

「給水管」の取替

実施した 直近 年

実施していない

★給水管とは、共用部分の給水管(専有部分を除きます。)をいいます。

②「貯水槽」

②-1 受水槽

あり

「受水槽」の取替

実施した 直近 年

実施していない

なし

②-2 高置(高架)水槽

あり

「高置(高架)水槽」の取替

実施した 直近 年

実施していない

なし

③「給水ポンプ」

「給水ポンプ」の種別

1)揚水ポンプ(受水槽から高置水槽に水を送る。)

2)加圧ポンプ(受水槽から直接水を圧送する。)

3)増圧ポンプ(水道本管から直接水を圧送する。)

4)給水ポンプはない(水道本管から直接給水する。)

★部品交換(オーバーホール)等の場合は、「b)実施していない」を選択してください。

「給水ポンプ」の取替

実施した 直近 年

実施していない

9 排水設備

①「排水管」(建物の形態)

1)1階からすべて住宅専用

2)1階が店舗や事務所等(複合用途)

3)1階部分がピロティ形式(駐車場等)

「排水管」の取替

実施した 直近 年

実施していない

②「排水ポンプ」の有無

あり

「排水ポンプ」の取替

実施した 直近 年

実施していない

なし

10 ガス設備

①「ガス管」の有無

屋外埋設部ガス管の種別

1)亜鉛メッキ鋼管等の鋼管類

2)ポリエチレン管、被覆管等の樹脂系

3)ガス管はない(オール電化・プロパンガス等)

〔屋外埋設部ガス管〕の配管長さ m

「ガス管」の取替(屋外埋設部ガス管)

実施した 直近 年

実施していない

(都市ガスを対象)

★ガス管の仕様は、設計図書等で確認するかガス事業者にお問い合わせください。

1985年以前は、亜鉛メッキ鋼管

1986年以降は、ポリエチレン管

★プロパンガス(LP ガス)の場合は、マンションごとにガス会社との契約内容が異なるため対象外とします。

★配管長さは、道路の引込境界(敷地境界)から建物の反対側までの距離としてください。

11 空調・換気設備等

①「空調設備」の有無

あり

「空調設備」の取替

実施した 直近 年

実施していない

なし

★空調設備とは、管理室、集会室等のエアコンをいいます。管理員室、集会室等がない場合は、記入の必要はありません。

②「換気設備」の有無

あり

「換気設備」の取替

実施した 直近 年

実施していない

なし

★換気設備とは、管理員室、集会室、機械室、電気室等の換気扇、ダクト類、換気口、換気ガラリをいいます。

12 電灯設備等

①「電灯設備」

「電灯設備」の取替

- 実施した 直近 年
 実施していない

★電灯設備とは、共用廊下・エントランスホール等の照明器具、配線器具、非常照明、避難口・通路誘導灯、外灯等をいいます。

②「幹線設備」

「幹線設備」の取替

- 実施した 直近 年
 実施していない、かつ、予定はない

★幹線設備とは、引込開閉器、幹線(電灯、動力)等をいいます。

③「避雷針設備」の有無

あり 設置本数 本

「避雷針設備」の取替

- 実施した 直近 年
 実施していない

★避雷針設備とは、避雷突針、ポール、支持金物、導線、接地極等をいいます。

なし

④「自家発電設備」の有無

あり

「自家発電設備」の取替

- 実施した 直近 年
 実施していない

なし

13 情報・通信設備

①「電話設備」

「電話設備」の取替

- 実施した 直近 年
 実施していない、かつ、予定はない

★電話設備とは、電話配線盤(MDF)、中間端子盤(IDF)等をいいます。

②「テレビ共聴設備」

「テレビ共聴設備」の取替(アンテナ等)

- 実施した 直近 年
 実施していない、かつ、予定はない

★テレビ共聴設備とは、アンテナ、増幅器、分配器等をいいます。ケーブルテレビを除きます。

③「インターネット設備」

あり

「インターネット設備」の取替(又は設置)

実施した 直近 年

実施していない

なし

★インターネット設備とは、住棟内ネットワーク部分をいいます。

④「インターホン設備等」の有無

[オートロック設備]の有無

あり

[オートロック設備]の取替(又は設置)

実施した 直近 年

実施していない

なし

14 消防用設備

①「屋内消火栓設備」の有無

あり

「屋内消火栓設備」の取替

実施した 直近 年

実施していない

なし

★屋内消火栓設備とは、居住者が初期消火に使用するものであり、消火栓ポンプ、消管、ホース類、屋内消火栓箱等で構成される。

②「自動火災報知設備」

「自動火災報知設備」の取替

実施した 直近 年

実施していない、かつ、予定はない

★自動火災報知設備とは、火災を自動的に感知又は押しボタンにより受信し、音響装置で火災を報知するものであり、感知器、発信器、表示灯、音響装置、中継器、受信器等で構成される。

③「連結送水管設備」

「連結送水管設備」の取替

実施した 直近 年

実施していない、かつ、予定はない

★連結送水管設備とは、消防ポンプ自動車から送水口に送水し、消防隊が放水口に放水器具を接続して消火活動を行うものであり、送水口、放水口、消火管、消火隊専用栓箱等で構成される。

15 昇降機設備

①「昇降機」(エレベーター)の有無

あり

「昇降機」(エレベーター)の取替
 実施した 直近 年
 実施していない
 なし

16 立体駐車場設備

①「自走式駐車場」の有無(種別)

1)自走式駐車場がある
 1層2段プレハブ自走式 収容台数 台
 2層3段プレハブ自走式 収容台数 台

「自走式駐車場」の建替
 実施した 直近 年
 実施していない

2)自走式駐車場はない

★団地型(複数棟)の場合で、棟ごとに長期修繕計画を作成する場合は、全体の台数(立体駐車場のみ)を各棟の住戸数等で按分した台数を記入してください。

★1層2段・2層3段プレハブ自走式とは、躯体が鉄骨造でスロープを自走する駐車場をいいます。1層2段(地上と屋上を利用)と2層3段(地上、2階と屋上を利用)があります。

★立体駐車場で、建物内に自走で収容、又は地下等に昇降設備(エレベーター等)で降ろし、自走で収容する方式は、特殊な設備等として「20. その他」に記入してください。

②「機械式駐車場」の有無(種別)→下表に形式別の収容台数を記入

1)機械式駐車場がある

形式	収容台数	形式	収容台数
地上単純昇降2段	<input type="text"/>	ピット横行昇降2・3段	<input type="text"/>
地上横行昇降2・3段	<input type="text"/>	ピット横行昇降4・5段	<input type="text"/>
地上横行昇降4段	<input type="text"/>	垂直循環方式(タワー式)	<input type="text"/>
ピット昇降2・3段	<input type="text"/>	その他(多層・水平循環方式等)	<input type="text"/>

「機械式体駐車場」の取替(又は設置)
 実施した 直近 年
 実施していない

2)機械式駐車場はない

17 外構・附属施設

①「外構」

「外構」の取替
 実施した 直近 年
 実施していない

★外構とは、駐車場、舗装、排水管等をいいます。

②「附属施設」

「附属施設」の取替
 実施した 直近 年

★附属施設とは、自転車置場・ゴミ集積所等をいいます。

実施していない

18 長期修繕計画作成費用

「長期修繕計画の見直し」の実施

作成又は見直した

直近 年

見直しをしていない

19 その他

[特殊な設備等]

①特殊な設備名:

修繕を実施した 年 金額 円

②特殊な設備名:

修繕を実施した 年 金額 円

③特殊な設備名:

修繕を実施した 年 金額 円

④特殊な設備名:

修繕を実施した 年 金額 円

★項目の2から19までに該当しない特殊な設備等
(例えば、浄化槽・プール・遊戯施設等)がある場合に記入してください。それ以外は、記入の必要はありません。

★修繕工事を実施した年(西暦)を記入してください。

C.建物・設備の概要に戻

おつかれさまでした。

以上で入力は終了です。こちらのファイルを申込みフォームに添付いただくか、印刷したものをFAXにて送信ください。